



北大経済学部同窓会報

第34号

発行者
北海道大学経済学部同窓会

発行日
2018年8月25日

電話&FAX
(011)706-4113

email
dosokai@econ.hokudai.ac.jp

経済学部卒業者数
11,409名

北大経済学部同窓会員の皆様に、同窓会報第34号をお届けします。

私が同窓会の会長に就任したのが2006年秋でした。すでに10年以上も会長を拝命していることになりました。トーマス・フリードマンの近著に目を通したところ、最近の状況を技術が加速的に進歩していると分析し、その出発点を2007年に求めています。私が学生だった1972年にローマクラブという団体が『成長の限界』を出版し、当時では新しかったシミュレーションを使って未来予測を行い、話題を呼びました。特に、幾何級数的成長という考え方に賛否が集まりました。

ごあいさつ 時代の急速な 変化の中で 「同窓会」は



北大経済学部同窓会会長
上野 昌美
(昭和47年卒業)

人間は自分の生きている時点から過去を振り返り、自分の時代を変化が加速した時代と考える傾向があるのかもしれない。しかし、この10年間の変化は歴史的な変化だったかもしれません。同窓会を取り巻く環境も急激に変化しました。会報冒頭の「ごあいさつ」でも何度も変化の激しさに言及しましたし、そういう状況だからこそ、同窓会のようなアンカーになる組織が必要なのだと考えてきました。その考えは変わりません。しかし、新しい状況への適応のためには、新しい知恵が求められます。同窓会の会員の皆様からのご支援をよろしくお願いいたします。



巻頭言

深刻化続く教育・研究環境 — 海外大学との共同研究交流は 明るい話題 —



経済学研究院長
(学院長・学部長)
平 本 健 太
(昭和62年卒)

本年四月より、大学院経済学研究院長・大学院経済学院院长・経済学部長を務めることになりました。二年間の任期を全うすることができそうです、どうかよろしくお願いいたします。

昨年度の同窓会報で前任者の町野和夫先生も触れていらっ

経済学研究院に今年度配分される予算が昨年度から大きく減額になり、これまで以上に難しい部局の運営を強いられることになりそうです。厳しい冬をじつと耐えれば、いずれ暖かい春がやってくるというような状況ではないだけに深刻です。

重苦しい話題が先行しました

が、少し明るい話題としては、大学院修士課程におけるヨーテボリ・ハンデルス校（スウェーデン）とのダブルディグリー・プログラム（DDP）が、今年度から実際に動きはじめたことがあげられます。今年四月、ヨーテボリ大学から初めてのDDP学生一名が来日しました。今年十月には、経済学院から二名の学生を先方に派遣する予定です。ちなみにダブルディグリー・プログラムとは、海外大学院との間で教育プログラムを開設し、プログラム参加学生がそれぞれの大学の修了要件を満たした際に、二つの大学それぞれから修士学位を得られるとい

う国際共同教育プログラムの一種です。現在、台湾のトップ大学である国立台湾大学との間でも同様のDDPの締結を目指しており、早ければ次年度から学生の交流が可能になりそうです。上述のように国立大学を取り巻く環境は年々厳しくなっています。しかし、だからといってわれわれの教育と研究の水準を落とすわけにはいきません。限られた予算の中でより効果的で効率的な教育サービスを提供するとともに、競争的研究資金をはじめとする外部資金を積極的に獲得して研究を進めていくことが、いままで以上に必要になっていきます。また、こういう時代だからこそ、同窓会との関係をなおいっそう密にしていることが重要であるとの思いを新たにいたしております。同窓会のみなさまにおかれましては、これまで以上のご協力とご支援を賜りますよう、何卒よろしく

お願い申し上げます。

定山溪温泉

ぬくもりの宿 ふる川

創業50年ありがとう。

この冬定山溪 ぬくもりの宿 ふる川に2つの施設がオープン！

空中歩廊を備えた新たな温浴施設

心の里定山 庭園に東洋古美術館 中島文庫

温泉で皆様の元氣と幸せづくりのお手伝いをさせていただきます。

（株）ぬくもりの宿 ふる川

061-2303 札幌市南区定山溪温泉西4丁目353番地

TEL (011)598-2345 FAX (011)598-2221

運河のゆやど

小樽 ふる川

心のリゾート

海の別荘 ふる川



3月22日、午前中の卒業式に続き百年記念館において「卒業生を送る会兼同窓会入会式」が開催されました。

まず町野和夫学部長・研究科長（当時）よりアカデミー賞マークアップ・ヘアスタイリング賞受賞者の辻一弘さんの「誰の言うことも聞くな」という部分を引用され、今後の人生において自信を喪失したときも簡単に諦めず自らの道を切り拓くようにとのお言葉がありました。続いて上野同窓会長からは「人生百年時代に入りAIの発展などで見通しが難しい状況の中、北大で得た恩師・友人との絆や知識を大切にクリエイティブな人生を歩んでほしい」との餞の挨拶がありました。その後のパーティーでは約200名の参加者の安堵感と開放感にあふれた歓声が会場いっばいに響き渡りました。

卒業生を送る会

経済学部・法学部同窓会対抗ゴルフ大会

6月23日（土）曇天の札幌エルムCにおいて第38回となる「伝統の一戦」が行われました。参加者の日頃の行いのせいか天候不順の合間と重なり日頃鍛えた技量をいかんなく発揮（？）できたようです。

今年は出席者数（14名）においても成績優秀者数においても法学部を圧倒。その結果「団体戦」では法学部の連覇を阻止することができました。

プレー後の表彰式はいつものように和気藹々の中、笑いの絶えない交流が見られ出席者全員に「豪華賞品」が手渡されました。

この会も例外に漏れず「高齢化」の波が進んでいます。それでもゴルフ経験者・初心者の参加も毎年見られ幹事としても心強く感じております。

ダブルペリア方式や下位に厚い賞品構成で、力量に関わらず皆が楽しめるイベントを心掛けておりますので是非気軽にご参加ください。

因みに今年の優勝者は100を大きく超えたIさん（昭和49年卒）でした！



毎年、同窓会からは学生支援の一環として優秀論文同窓会長賞を授与していますが今回は高橋賢さんが選ばれました。

この会には例年同窓会より15万円を寄贈し多くの学部関係者より感謝の言葉をいただいております。

《今年の表紙》

十勝は中札内「六花の森」、北大の校章モチーフである延齢草などの花々が咲き誇る、なんとも幻想的な写真です。

昨年に続き写真家・中村健太さん（余市町出身、平成14年経済学部卒）にお願いしました。

中村さんは企業広告、雑誌取材、学校パンフ、WEBなど多岐にビジネスを広げておられる一方で、写真家で作るNPOの代表を務められるなど、写真で北海道を盛り上げる活動を行っています。

写真のことなら「相談されては如何でしょう。連絡先はpag.nakamura@gmail.com

NPO法人 北海道を発信する写真家ネットワーク 理事長
日本旅行写真家協会 理事

連合・労働
相談ダイヤル



0120-154-052

（発信地の都道府県にある連合につながります。相談無料・秘密厳守）

連合は、全国のあらゆる産業で働く680万人の仲間で組織する労働組合のナショナルセンター（中央組織）。すべての労働者が安心して働き、暮らせる社会づくりのために活動しています。



連合（日本労働組合総連合会）

連合北海道 会長 出村良平（昭58年卒）

ゼミ紹介 第三回

非営利組織論 松尾 睦教授

松尾ゼミ

① ゼミ紹介

□ 明るく、そして真面目に

はじめまして！松尾ゼミでゼミ長を務めています。経済学科3年の土屋大悟です。このたびの経済学部同窓会誌でゼミ紹介をさせていただくことをとても光栄に思います。それでは松尾ゼミについてゼミ生の視線から紹介させていただきたいと思っています。

まず、私たち松尾ゼミでは「組織心理学」という分野を研究テーマに掲げています。組織心理学とは、組織の中で個人がどのような役割を果たしているかを、またどのような組織が成長していくのかを研究する学問で、この研究

テーマのもと4年生7名、3年生7名の計14名（男女比1・1）で活動しております。駆け足ですが、次のこのゼミの特徴について述べていきます。



が、松尾ゼミの特徴は「明るく常に賑やかな雰囲気」であるということです。このことはゼミ生全員が日々実感しており、ゼミの根幹を支えているゼミ風土なのだろうと感じています。これまでのゼミ生の方々が代々築いてきてくださったこの雰囲気、私たちが守っていきたいと考えています。また、ゼミ生からは「先生との距離が近く些細な質問も遠慮なくすることができ」「先生の話が面白い」など松尾先生が聞くと思わず顔を綻ばせてしまうような話がたくさん聞かれます。このようにゼミ生同志だけでなく、先生とゼミ生の間の親密さもこのゼミを語るうえで欠かせません。

□ 経験から学ぶ

ここまで松尾ゼミの特徴についてすこしばかり述べていただきましたが、次にゼミの内容について書いていきたいと思います。

ます。

松尾ゼミの研究テーマである「組織心理学」には実に様々なモデルがあります。その中でいま私たちが意識的に取り組んでいることは経験学習サイクルモデルの実践です。このモデルは、他者や自己への思い、人とのつながりに動機づけられながら、「目標を引き上げる」、「経験を内省する」、「どんなことにも楽しみを見いだす」という三要素を効率的に循環させるというもので、このモデルを活用できる人が経験から多くを学ぶことができます。このサイクルを意識的に実践することで、ゼミ生個人としても松尾ゼミ全体としても大きく成長したいと考えています。



その機会として松尾ゼミが位置付けているのが今冬に行われる三大学による合同ゼミの研究発表です。松尾ゼミでは昨年からは首都大学東京・明治学院大学との合同ゼミを行っています。第一回の昨年、松尾ゼミでは研究テーマの決定から統計分析、研究発表のプレゼン対策までゼミ生が自由に考えて主体的に取り組む方針がとられました。その時の経験が自己の成長につながったと四年生のゼミ生は言います。ゼミ生主導と

いうこともあり様々な壁にぶつかりながらも、松尾先生の熱いご指導もあり、合同ゼミ後の相互評価において松尾ゼミから参加した2組が最優秀発表と優秀発表を獲得しました。今年は、「二連覇」をかけて三年生が合同ゼミに挑みますが、あと約半年という期間の中で納得感・達成感のある研究に仕上げるため、ゼミの時間外にも積極的に話し合いを進めるなど力を注いでいます。

以上、松尾ゼミのゼミ長として最低限のことはお伝えできたかなと思っています。これから松尾ゼミが今よりもさらに魅力いっぱいになるように、ゼミ生一同今後も精進していく次第です。

② 松尾先生の「メント

私のゼミは2014年から開始しましたので、経済学部の中では比較的歴史が浅いゼミです。現在、4、5期生が学んでおり、これまで1〜3期生が社会に旅立って行きました。



ゼミのポリシーは「探求と感動」です。つまり、興味あるテーマを「探求」し、分析結果を通して「感動」してほしいと思っています。そのために、まずディベート演習で議論する力を養い、論文の調べ方、調査方法、統計分析を学んだ後に、それらのスキルを使って、グループ研究に取り組みます（3年次）。グループ研究では、分析結果をプレゼンテーションし、議論を通して、納得いく形になるまで内容を練り上げます。

ディスカッションの際、3年生の発表に対して4年生がコメントする場面が多いのですが、毎年驚かされるのは、今まで教えられる立場だった3年生が進級したとたんに「4年生の顔」へと変貌することです。「役割が人を育てる」こと、「教えることで成長する」ことを実感できる瞬間です。

ゼミ運営では、「他流試合」、すなわち「他大学との合同ゼミ」に力を入れています。これまで神戸大学、首都大学東京、明治学院大学と合同ゼミを実施してきました。北大生はどうしても北海道の中で内弁慶になつてしまいがちですが、学生のう



ちから外の風を感じてほしいという点が主な狙いです。合同ゼミでは、緊張感のある雰囲気の中で、ゼミ生が大きく成長する様子を見ることが出来ます。

ゼミ中、私は「質問しろ、質問しろ」としつつこくゼミ生をけしかけていますが、その理由は、「探求心」「知的好奇心」「主体性」が「質問」に表れると信じているからです。北海道大学経済学部の卒業生の皆さまも、質問力、探求力、感動力を磨き、それぞれの分野で、ますます活躍していただければと思っています。

□田苗和也さん（平成28年卒）

私は経験から学ぶということが、今後の人生に活用が利きそうという思いから、松尾ゼミを希望し、第1期のゼミ長を務めさせていただきました。卒業後は富士通株式会社で働いています。

松尾教授は穏やかで、ゼミでの活動も非常に自由でした。学生の興味を優先して、課題や、卒論のテーマを選ばせくれ、私の同期には、ラーメン業界の人材育成について研究をしているツワモノもいました。

社会人30名分の街頭インタビューや、直接会社の人事部の方からお話をお聞きしたりするなど、松尾ゼミでは、フィールドワークを重視していました。本や、講義からは得られない経験を得ることができたと思っています。



今でも同期とは頻繁に連絡を取り合う仲で、ゼミで学んだことだけでなく、一緒に学んだ仲間たちは私の貴重な財産です。今後も学んだこと、仲間たちとのつながりを大事にして、北大経済学部・松尾ゼミOBの一員として、活躍していければと思っています。

□青山夏那子さん（平成29年卒）

社会人生活を送っている今、大学時代を振り返ってみて、松尾先生の下で学んだ2年間で最も身になったと感じるのは、ディベートを通じた議論の仕方です。

自分の主張を簡潔にわかりやすく伝えること、チームメンバーが満遍なく話せているか気を配ること、常に考えながら相手の主張を聞くこと。初めの頃の私はこのどれもできておらず、自信満々に発言したあとで「話が長い。1人だけ話すぎ。」という内容のフィードバックをもらい、ショックキングでは



ゼミ室に入ってまず活気に驚かされた。それもそのはず、今日はフルメンバー（14人）が出席、しかもその半数が女性という華やかさだ（さすがイケメン・松尾先生）。「組織の中で成長する又は頼られる人物像とは」が今日のテーマ。2班に分かれディベートを通じて深掘りするやり方らしい。

次々に黒板が意見や異見で埋まる。やや議論が逸れる。そこにタイムリーに松尾先生の方向修正が入る。

独自の意見表出力や質問力向上にも指導の重点を置かれていると聞き、納得しました。

松尾先生は小樽商科大卒、ランカスター大学（英国）Ph.D取得、神戸大を経て2013年から北大現職。著書は「成長する管理職」（東洋経済新報社）、「経験学習入門」（ダイヤモンド社）など多数。

4 ゼミ訪問記

あったものの納得して受け止めることができたことを覚えています。経験学習論や組織論についての知見が得られたことももちろんですが、議論の仕方や効果的なプレゼンテーションの方法など、実際に社会に出てからも思い返すような教えも賜ることができました。ゼミの合間の会話や飲み会で垣間見える松尾先生のキャラクターも、集まった個性的なゼミメンバーもとても面白く、充実した大学生活を送ることができました。松尾ゼミを選んでよかったと思っています。

ゼミ紹介 第四回

労働経済学 安部由起子教授

安部ゼミ

①ゼミ紹介

□身に付く生の英語力

こんにちは！現在、ゼミ長を務めている阿部研生です。安部ゼミでの活動や、それから得られるもの等を私なりの解釈も踏まえて紹介させて頂きます。

安部ゼミを一言で表すと「英語」です。帰国子女枠で北海道大学経済学部に入學し



た私も「ゼミ活動を全て英語で行う」という他のゼミにはない特徴に惹かれて当ゼミを選びました。そんなユニークネスはゼミ開始直後から現れます。

安部先生の事務連絡等の報告が終わると、毎回、TAが用意したビデオを視聴します。もちろんこのビデオは全て英語で、内容は多岐にわたります。アリババ経営者ジャックマーのインタビュー、TED、キング牧師のスピーチなど、本当に様々。TAを含めるゼミ生は視聴後にビデオに関する感想や意見を、もちろん英語で言い合うのですが、これが意外と目から鱗。安部先生の話の引き出し方が上手いのか、特にTAのオピニオンは鋭く、斬新。私も思わず、終始「なるほど！」と思いながら頷いてしまう。ビデオ中の英語で聞き取れない部分があると、掴めるまで何度も見返し、ゼミ生の理解度を深めます。

次にゼミ生が用意した英語の記事をもとにディベートをします。この記事の内容も様々で、ゼミのテーマである国際時事問題に関するものであれば、何でもあり。様々な分野に関する知見を養いながら、英語で伝える力を身に付けます。ディベートではゼミ生の意見に対して、先生やTAから鋭いカウンターが来るときも。ゼミ生はそれに対し、悩み、何とか自分なりの答えを見出すことで、英語で考える力も同時に習得

していきます。

最近では、グループに分かれ、それぞれのテーマについてのプレゼンの準備にも時間をかけています。くどいようですが、このテーマもゼミ生が自由に決定。今回のテーマはRegional Revitalization（地方創生）、Sports Business（スポーツビジネス）、Working Hours（労働時間）の3つ。各グループには1人以上のTAが付き、ここでも英語で活発な議論が行われます。

毎週火曜日、14時45分から18時までの約3時間、英語漬けになると否応にも英語力が身に付きます。実際、上から目線で申し訳ないのですが、ゼミ生の英語での発言の質、量と共に徐々にではあるのですが、向上しているのを感じます。それもそのはず。英語で考え、整理し、伝えるプロセスを先生やTAの生の英語の中で行うのですから。

安部ゼミが行われているのは薄汚く、殺風景な（よく言えば歴史的な）経済学部棟にある一教室。しかし、一旦教室に入ると広がるのは棟の外観からは想像できないようなグローバルな空間、雰囲気



広がっています。それが安部ゼミの「素晴らしいさ」です。

□自由とダイバーシティ

ゼミ紹介文を読んでいただけでは、安部ゼミの自由さは明らかでしょう。ビデオ、記事、プレゼンのテーマとゼミで扱う内容の殆どがゼミ生によって決められます。しかし、その「自由さ」には責任が伴います。ビデオや記事を選ぶ際には、なぜそれを選んだか、何を伝えたいのかを他のゼミ生に説明することを考慮に入れなければなりません。プレゼンのテーマ選びも自由ですが、1年間を通して調査できる、そしてそれに値する内容でなければなりません。責任を伴う「自由さ」。これもグローバルな雰囲気気がゼミにもたらすものでしょうか。ゼミ生はそんな中で英語力だけではなく人間力も磨きます。

また、ダイバーシティも安部ゼミの魅力の一つです。TAの出身国はパキスタン、ウズベキスタン、中国と色とりどり。ゼミ生も九州や関西、関東、北陸など全国津々浦々から来ています。様々なバックグラウンドを持つ人々と責任を感じながら自由に意見を交わす。そんなゼミ生活を我々安部ゼミは送っています。

② 安部先生の「メント

安部由起子ゼミも、10年以上がたちました。この間、多くのゼミ生の方に支えられて、なんとかゼミを継続してることができました。

それと同時にこの間、ゼミの内容もかな

り変わってきました。何よりも大きな変化は、留学生T AやT Fの方々のおかげで、ゼミが大いに国際的になったことです。いまや、ゼミの時間のうち少なくとも半分程度は、使用言語が英語になりました。10年前には、そのうち大学の授業も英語の授業が増えるかもしれない、というような話があっても、どうやってそれが実現しうのかはあまり見当がつかなかったと思います。が、今ではゼミの中で自然に英語でコミュニケーションがなされるようになりました。また、国際情勢やそれに対する視点、世界の様々な地域の文化についても、活発な議論がゼミの中でなされています。これもT A・T F・ゼミ生の皆さんのおかげです。

卒業生の中には、「私も学生時代、そんなインターナショナルな環境で勉強したかった」という感想をお持ちになる方もおられるかもしれません。安部由起子ゼミに関していえば、多くの方の助けを借りてそれがやっと実現した、というのが実感です。

同窓生の皆さまにおかれましては、なお一層のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

③OB・OGから

□井川直也さん（平成29年卒業）

私は2015年に「英語」と「時事問題」というキーワードに惹かれて安部ゼミに入りました。2年間のゼミを通して英語能力や時事問題に対する知見



だけでなく、論理的思考能力や瞬発的思考力、プレゼン力など非常に多くのものを得ることができ、現在所属する京都大学経営管理大学院での活動や研究に生きています。

ゼミでの主な活動の一つである時事問題についてのディスカッションや卒論発表では、先生の鋭い質問に戸惑うことも多く、そのため試行を回すことが多かったのですが、それによって磨かれた思考力は今の僕の強みとして活躍してくれています。また、毎行われる英語の速読も正直つらかったのですが、そのおかげで今では英語論文や書籍を読むのにそれほど時間がかからず、その分ほかの学習や活動に充てることができ、忙しい中でも時間を効率的に使うことができています。

また、先生は様々な分野において知識が豊富で面白い話をしてくれたり、相談に親身に付き合ってくれたりと非常に魅力的な先生で、安部ゼミに入ってから良くなったと思っています。私は来年から経営コンサルタントとして働くのですが、安部ゼミでの経験を生かして活躍していきたいと思っています。

□浦波太一さん（平成20年卒業）

私は安部ゼミの1期生で、ゼミ長を務めました。ゼミでの思い出は、ゼミ生のみんなで行った行事です。新設のゼミということで、



「ゼミ恒例の○○」のようなものもないため、小樽、襟裳岬、函館、網走への旅行や安部ゼミ初の合宿（層雲峡）、みんなで協

力して作ったキーや餃子によるパーティなど手探りの状態でしたが色々な行事を行いました。ちなみに、ゼミ開始当初は「ゼミ長の言うことは絶対」というルールがあったのですが、徐々に他のゼミ生から拒否権（？）が発動されるようになりました。

それも、様々な行事を通じて親密度や結束力が高まっていった結果、ゼミ生同士で色々な意見を交わしあえるような間柄になったことが大きかったと思います。

さて、私が大学を卒業して10年経過しました。「サービス残業の実態」をテーマに卒業論文を書きましたが、「働き方改革」が叫ばれている昨今、非常にタイムリーなテーマであったと思います。私の職場においても勤務時間インターバル制度が新たに導入されており、世間一般における「働き方」に対する価値観が変わってきたように感じます。ゼミで学んだことを今実際に働いている現場の感覚を交えて改めて考えてみようと思います。

最後になりましたが、安部先生には在学



4ゼミ訪問記

中の2年間大変お世話になりました。また、法学部からT Aの方々にも来ていただき、経済学部にながらにして法学の立場からの意見を聞くことができたことも非常に勉強になりました。安部ゼミに対し、私にできることがあれば協力させていただきますので今後もよろしくお願いします。

「ゼミは全部英語でやりますよ、大丈夫ですか？」と安部先生から嚇かされて参加させていただいた。

当日はマーケット原則におけるinvisible handがテーマ。

英語の動画ビデオを全員でシェアしたあと生徒一人一人に容赦なく英語で質問を投げかけるのが安部流だ。

安部先生や外国人T A（ティーチングアシスタント）の流暢なやりとりは圧倒されながらも懸命についていくしかない。

不自由な英語で応える生徒に対し先生は丁寧に質問を繰り返され、日本語で助け舟も出される。

厳しい中にも愛情あふれる指導が生徒を惹き付けるゼミと実感しました。

安部先生は東大経済学部卒業、プリンストン大学大学院でPh.D取得。2005年より北大で教鞭をとられている。

ゼミが始まって10年に及ぶとお聞きしている。今は仕事や家庭に全力を傾けている。OB、OGの方もこの掲載を機に、どんな形であれ先生や仲間と旧交を温めては如何でしょうか。

受賞の喜びと 感謝の思い



高橋 賢
(平成30年卒)

この度は北大経済学部特選論文同窓会長賞をいただきまして、誠にありがとうございます。このような名誉ある賞をいただけたことを切に誇りに感じます。論文の執筆に関しましては担当教官である高木真吾教授に分析の方法論から専門用語の用法まで幅広くかつ綿密なご指導を賜りました。また卒業論文執筆だけでなく、学部生活4年間の苦楽とともにした仲間や、精神的に私の支えとなってくれた弟をはじめ家族にも大変お世話になりました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

私の卒業論文の表題は「市場における1円の価値とは―2010年から2015年のわが国医薬品産業を対象として―」です。論文執筆の動機はファイナンスにおいて現金が持つ特徴と、わが国医薬品産業の特徴的な財務体質にあります。現金には一般に将来的に価値が変動しない資産とされます。もし十分に投資の機会を持つ企業ならば現金を保有せず、投資を行い、資産の増加に務めるのが合理的な行動と思われる。

また医薬品産業の特徴的な財務体質に関して、一般にわが国の医薬品産業は自己資本比率が高いと言われています。理

由は医薬品産業の収益の源泉が新薬の開発にあるためです。研究開発の結果、新薬を開発出来れば、特許の保護の下で長期的に高い利益を独占できます。しかし新薬開発はハイリスク・ハイリターンの特徴です。厚生労働省の調査では数百億から数千億規模の投資を10年以上継続する必要がある、成功確率も約3万分の1と低いとされています。そのため自己資本比率を高めて長期的な財務的安全性を確保することで長期間に亘る研究開発に耐え抜くだけの企業の体力と、万が一（成功確率も約3万分の1）に失敗してしまった時でも倒産しないようリスクへの備えをする必要があります。確かに長期的な安全性は考慮されていると思われるが、一般に認知され納得のいくものでしょう。では短期的な安全性はどうなのでしょう。特に現金のような投資とは完全に無関係な資産ならどうでしょう。私の研究はこのような動機で始まりました。

わが国医薬品産業が保有する現金にアプローチするにあたって私は先行研究の取った投資家の視点から行いました。すなわち企業が現金を1円保有することで投資家は企業価値を何円上昇したかを実証分析するという方法です。

実際に分析をしてみるとわが国医薬品産業の保有する現金が1円増加することによって企業価値を最低でも3・59円上昇させる結果を示しました。つまり投資家は企業の現金保有行動を著しく高く評価していることとなります。米国市場一般を対象にした先行研究では現金1ドルの保有は1・19ドル程度の企業価値上昇しか招かなかつたことと比較してもこの数値の規模感の明らかな差がでます。ではなぜこのような結果が出たのでしょうか。

考えられる理由として2点あります。

1つ目は対象とした市場の特性です。上述したように医薬品の開発はハイリスク・ハイリターンの研究開発投資を必要とするため、短期的な資金繰りの安全性が投資家に安心感を与えるため、現金の保有が高い評価をされた可能性です。2つ目の理由として対象とした時期が挙げられます。2010年にわが国医薬品産業において保有する米国特許が相次いで特許切れになるという問題が起こりました。俗に2010年問題と呼ばれるこの問題はわが国医薬品産業に更なる研究開発の必要性を呼び起こし、投資家もその必要性を認識したためにあのような高い評価を下したと考えるのが妥当です。更なる研究をすればこの2つの推測が数値的に正当性を持つのか否かを検証できると考えます。

この卒業論文の執筆は問題意識の作成を常に行っていくような暗中模索の作業ではありましたが、道中で得るものもまた多かったと感じます。執筆に際して一つの事実を十分に吟味、解釈して論理を構成していく姿勢とある解釈に対して別の視点からそれを疑う姿勢の2つは常備しなければなりません。情報が多すぎる現代社会で選択させられた人間ではなく、あくまで選択する人間としてあり続けるためにはこのあり方は必要となってくるでしょう。そのための第一歩を北大経済学部で踏み出した僥倖を感じずにいられます。

最後になりますが、北大経済学部という我々の道筋をつけてくださった先達の皆様に感謝の意を表します。そしてこれからその末席に名を連ねる者として恥じないような社会人生活を送ってゆく所存です。

札幌の家具付き賃貸ならノースステイ

North Stay

North Stay は、札幌でウィークリー・マンズリーマンションや家具家電付の賃貸マンションを運営しております。ご旅行や出張など、お客様のあらゆるシーンにあわせて、快適な住居空間をご提供させていただきます。

(ノースステイホームページ)
www.north-stay.com/

札幌市内トップクラスの情報量

札幌 オフィス 検索

札幌オフィス検索は、札幌の賃貸事務所・オフィスなどへ移転をお考えのお客様に最新の物件情報をご紹介します。ご紹介物件数・更新頻度ともに札幌エリアではトップクラスです。仲介手数料半額による格安なコストでの移転をサポートします。

(札幌オフィス検索ホームページ)
<http://of-sapporo.jp/>

賃貸生活

株式会社 賃貸生活

代表取締役 佐藤 有

こちらのフリーダイヤルまでお気軽にお問い合わせください

【ノースステイ受付窓口】

【札幌オフィス検索窓口】

フリーダイヤル 0120-277-271

フリーダイヤル 0120-989-865

〒060-0062 北海道札幌市中央区南2条西9丁目1-2 サンケン札幌ビル2F
TEL 011-206-8996 / FAX 050-3737-3109

□ 賃貸生活のホームページ

www.on-1.net

就職状況

好調な業績が続く大企業を中心に新卒に対する求人マインドは高く、就職状況は依然として明るい。業種別では「金融・保険」「サービス」「情報通信」が上位を占めるが昨年同様「機械・電機」がシェアを伸ばしている。また公務員（特に道内）人気が底堅い一方で新興・ベンチャー企業への志向も増加傾向にある。

若者の就職先選択の基準も時代を反映し多様化している。

北大経済は有名私大に比べOB・OG数ではないません。ビジネスや会合等で彼らに会われた時は先輩としての温かいお声掛けと励ましの言葉・サポートをお願いします！

- 【6名】 村田製作所
- 【4名】 JFEスチール、ニトリ、北洋銀行、札幌市役所
- 【3名】 富士通、新日鉄住金、りそな銀行、アクセンチュア
- 【2名】 日立造船、トヨタ、三井住友銀、農林中金、信金中央金庫、道銀、北陸銀、第一生命、商船三井、NTTデータ、新日鉄住金ソリューションズ、あずさ監査法人、新日本監査法人、北電、電源開発、道信用農協連、道財務局、道警
- 【1名】 大和ハウス、大塚製薬

日本甜菜糖、明治、三幸製菓、旭化成、倉敷紡、日東紡、日新製鋼、愛知製鋼、日本製鋼所、日立、四国化工機、NOK、キヤノン、三菱電、シャープ、三井化学、ADEKA、トヨタ紡織、JXTGエネ、レンゴー、日本ペイント、アシックス、LIXIL、旭化成ホームズ、アイクス、イオン北、イトーヨーカ、ローソン、セコマ、ファミリ、ロイズ、国分、CDG、GCA、GYAO、HRソリューション、インタースペース、ソニーリージョナル、エイフォース、エムエスケー農機、サッポロアポロ石、花王Gカスタマー、サッポロプレシジョン、エルティエース、セコム、オリエンタルランド、ソフトバンク、日本IBM、日本IBMソリュ、三菱総研、トヨタ北、大谷産業、モダグループ、東光ストア、積水医療、日本データスキル、みずほFG、新生銀、三井住友信託銀、千葉銀、富山第一銀、商工中金、日本生命、三井生命、安田生命、住友生命、大和証、岡三証、東京海上日動、損保ジャパン、三井住友F.L、日本政策金融、伊藤忠、三井不リアル札幌、ミツトヨ、J.A共済連北、全国共済農協連、道

農協中央会、PWCコンサル、税理士法人ヤマダP、セブリンツチアカ、ビッグツリーテクノ、NTTデータMSE、日立ソリューション、日立産業制御、フューチャーアイキ、ベネッセスタイル、マイネット、富士ソフト、ミハル通信、レジェンドアプリ、栄光、ウィンコンサル、感動いちば、臨海、北大、藤女子大、世界経済外交大、桂和商事、都市再生機構、警察庁、フィンランド大使館、札幌法務局、道財務局、函館税関、道経産局、東京都、北海道、石川県、千葉県、藤沢市（以上 含院卒）



恩師の異動

平成29年 9月

准教授 成田 大樹
東京大学へ

平成30年 3月

助教 小林 大州介
北大・地域経済経営
ネットワーク研究セ
ンター 研究員へ

助教 田中 藍子
北大・地域経済経営
ネットワーク研究セ
ンター 研究員へ



そのあとは同窓会総会が行われ収支報告と次期活動方針などが承認されました。
午後5時半より中央食堂に集まり文系4学部合同の「懇親会」が賑やかに行われました。大学から来賓のご挨拶を

毎年大学が催すホームカミングデーに合わせて「同窓会総会」と「懇親会」を9月30日に行いました。
これに先立ち「地域を創造する人育て」と題して講演会が行われ、興味深いテーマに一般市民を交えた100名を超える参加者が聞き入りました。

今年も9月29日の最終土曜日に行います（詳細は16ページ）。この機会に合わせて同期会や先生を囲む会を企画されては如何でしょうか。

経済学部 同窓会・懇親会

平成29年度

同窓生の近況

偶感

加藤 剛規(晃規)
(昭和35年卒)

私は、昨年八十路入りしたが、「エンディングノート」を書くという「終活」はしていない。「ノート」には、葬式のやり方、感謝の気持ちなどを書くらしい。

先ず、葬式のやり方を指定するらしい。残された者が、やり易いのではないかと親心からかもしれないが、死後のことは残された者に任せるべきで、残された者の気持ちや考えを尊重すべきだと思う。そういう意味では生前の生き方が問われるのではないだろうか。私は、毎朝、仏壇を開けて念仏を唱えている。父の戒名は「十念院釋尊修居士」なので、「南無阿弥陀仏」の六字の名号を十回唱えるのを日課としている。次に、感謝の気持ちを書き記すらしい。生きている時に感謝の言葉を

伝えることが大切だと思う。死んでからでは遅いような気がする。毎年各人の誕生祝い昼食会の場を設けてお互いの感謝の気持ちを表すというのはどうだろうか。私は学士会館(結婚式場)でやっている。

追記

「<http://unou575.at.webry.info/>」(右脳俳句で自分史作り)を、お暇の折に覗いて頂ければ幸甚です。

私が北大を選んだ理由

——決心したのは
先生・先輩の熱心な指導——

Inka-Lisa Håkåia(ハカイン・カーサー)
(博士後期課程1年在学中)

私は現在、駐日フィンランド大使館商務部で働きながら、北大大学院経済学研究科の博士課程で学んでいます。ここを選んだ理由は、研究を進める中で先生や先



輩から多くの指導が得られると判断したからです。

入学する前、フィンランドの交換留学生として北大経済学部のゼミに参加させてもらいました。参加したゼミでは学生に研究テーマ選びから自由に研究をさせ、1年に2回研究成果を他の大学と行われる合同ゼミで発表する機会がありました。研究テーマ選びのコツから論文の書き方や発表の仕方までゼミの先輩及び先生に熱心に指導していただき、発表直前になると一緒に夜遅くまで図書館で一緒に残ってくれたこともしばしばでした。この経験から、日本で大学院に入ることが決まった時、迷わず北大を選びました。

正社員なので東京で働いています。が、これからは国際学会で発表できるようにスカイプ、メール及び年何回か北海道へ行くことで指導教員の指導を受け、修士論文を進化させていきたいと思っています。

「初動食」という新ビジネス

——ライフライン停止時に
備えませんか——

藪谷 隆(昭和55年卒)

昭和55年(小林ゼミ)に卒業後日

立製作所に。同社を52歳で円満退職、直ちにトモソウ・ジャパン(株)を立ち上げ、まもなく10年になります。

新事業のPRです。災害時の非常食のビジネスです。ただの非常食ではありません(笑)。アルファ米や乾パンなどの一般非常食とは競合しない、むしろ補完しあう「初動食」という新しい分野で産声をあげた「ホッと!ディッシュ」というブランドです。ご飯とおかず、そして



加熱キットがセットになって保存期間5年というユニークな商材です。類似商品もありますが、おかずは特許加工でポークカレー、牛丼、肉じゃがなど、美味しいです！

電気、水道、ガスなどのライフライン停止時の災害初期、最初の食事が温かく美味しければ心も癒え、体も元氣になってほしいとの願い込めてリリースします。ビジネスモデルは、電力会社から、保険的サービスとして月額100円程度（ごはんとおかず3食セット）を電気料金にプラスしてサービスして頂く予定です。「ホッと！ディッシュ安心サービス」という弊社企画の特許（某電力会社との共同取得）サービスです。尚、個別売切りモデルもあります。ご興味のある方はEメール.. takashi-yabutani@tomosoh-japan.com(トモソ)一報を！

農業の未来を拓きます

—松下政経塾から

夢の実現へ—

波田 大専（平成24年卒）

平成24年に経済学部経営学科（谷口ゼミ）を卒業し、6年が経ちました。大学時代はマーケティング論や

競争戦略を勉強し、ゼミの仲間と終電間際まで徹底的に議論を交わした日々が懐かしく思い起こされます。私は現在29歳でこの春ホクレン農業協同組合連合会を退職し、政治家を志して松下政経塾に入塾しました。ホクレン時代は主にスマート農業の普及推進を担当し、車で1日300km以上走りながら全道各地の農家さんを回っていました。その中で農業現場の急速な衰退を感じ、日本の食糧自給体制の先行きに強い危機感を抱くようになりました。将来は地元北海道で農政を担い、農業の更なる発展に貢献したいと考えています。政経塾は全寮制で毎朝5時に起床し、ラジオ体操、掃除、3kmのジョギングから始まる厳しい生活です。多くの方々から教えを頂きながら今後の農業政策の方向性を探求し、北大時代に培ったフロンティア精神で農業の未来を拓くべく頑張っています。

いつまでもお元氣な荒又先生

—ゼミ仲間は一生の友！—

山梨 勝美（昭和57年卒）

残念ながら既に亡くなった方もい

ますが、2年上の1名、1年上の9名、同期の7名、1年下の4名とは連絡を取り合っており、東京近郊在住者とは年に1〜2回は飲み会を開いていますし、ゼミ生各自が札幌出張の際には、札幌在住の者と旧交を温めています。

4月15日には東日本大学7人制ラグビーに出場した北大を応援するために秩父宮ラグビー場に集まり（残念ながら、3名しか集まれませんでしたが）、『北大魂』をみせてきました。（試合は宿敵早稲田に善戦むなしく破れました。無念。）

また、荒又先生が上京される機会にあわせて、懇親昼食会を開いてお



話を伺っています。今年も5月頃に開催予定です。

荒又先生はいつまでもお元氣で、真冬の札幌でも毎日の1〜2時間ほどの散歩を欠かさず、研究・執筆を続けられているそうです。

お話を伺うたびに、ゼミ生一同は不肖の弟子として恥じ入っています。

エッセンは愉し

—恵迪寮の思い出—

田中 藍子

（平成12年卒、大学院博士後期課程単位取得卒）

エッセンはドイツ語で食事を指すそうだ。恵迪寮のエッセンとは、主に多種多様な結果的に煮込みとなったものであった。

恵迪寮の学部生棟では、学年も学部も違う学生が十数名ずつ集まりブロックごとに生活する。献立、予算内の買い出し、調理、後片付け—十数名分の食事にかかる労力を最小限にするならば、最終生産物の煮込み料理率は畢竟高くなる。

先輩製エッセンにあずかっていた新入生も、エッセンデビューのときがやってくる。料理本を検討し「材料」から余分なものをカット、買い出し量を決定、いざビッグハウス、

現在の恵迪寮



である。予算に余裕があれば、もやしや肉が追加される。もはや料理本は参考程度のエッセンができあがってしまっているのである。

キャンプのカレーがそうであるように、大量の煮込み料理はおいしくできてしまうものである。交代制で仲間と作り、ブロックにはいつも誰かがいて楽しく食卓を囲んでいた。エッセンはいい思い出である。

楽しみな札幌での同窓会

—ギターアンサンブル
創立50周年で—

片岡 孝夫（昭和58年卒）

学部では内田和男ゼミに所属しました。

現在は早稲田大学商学部でマクロ経済学を教えています。

北大在学中は「ギターアンサンブル」というクラブに所属していました。

卒業後、クラブの仲間とは長らく疎遠になっておりましたが、近年、クラブのOB会活動が活性化している関係で、かつての交流が復活しつつあります。

今年秋には、ギターアンサンブル創立50周年ということで同窓会が開かれますが、その機会に懐かしい札幌の街を散策するのが楽しみです。

チャレンジは道半ば

—南米帰りの

「半農・半会計士」—

吉田 周史（平成9年卒）

5年間かけて、平成9年に北大を卒業してから早くも20年超が経過しました。この度、この様な寄稿の機会を頂きましたので、卒業後の20年間を振り返りながら近況の報告をさせて頂きたいと思います。

卒業後は札幌にて、公認会計士として監査法人に約10年間勤務した後、青年海外協力隊に参加して南米ボリビアで2年間のボランティア活動を経験しました。帰国後は札幌に戻り監査法人勤務に復帰しましたが、平成25年に独立し、個人事務所として

気ままに公認会計士稼業を営んでおります。

独立開業したのが5年前で当時40歳。少し田舎に土地を確保しての「半農・半会計士」を目指し、「スーパードリーリーリタイヤだ!」、と吹聴して退職したものの、土地の確保も実現しないままに現在は札幌と東神楽町（旭川市の隣町）の2つの住拠点を構えて、「半」以上に仕事をさせて頂いており、「農」はわずかな家庭菜園のみ。独立当初の志は道半ば、といったところです。

勤務は通算10年超

—圧倒的なスケールの

中国語圏で—

菅沼 禎郎（昭和60年卒）

ゼミは中村通義先生ゼミ、部活は体育会ヨット部でした。

現在はIH I（以前の石川島播磨重工）という会社で勤務し、中国の上海で働いております。

学生時代の第二外国語は独語で、中国語とは全く無縁だったのに、今回で3回目の中国語圏勤務となり（台湾、蘇州、上海）、通算で10年を超えることになっております（笑）。日本に居ますと中国に対してネガ

ティブな報道が多く、悪い先入観が入ってしまいがちですが、何せスケールの大きい国。2010年前後

には毎年「日本国内新幹線の総距離」と同じ規模の新幹線延長@中国がなされ、毎年「新日鉄の国内計6製鉄所の総粗鋼生産量」と同じ規模量の粗鋼増産@中国がなされていた大国です。中国の良き部分と、日本が中国と共に発展していける道を、日本の外に居て見出し、日本に発信している毎日です。

大学院の思い出

—一番の思い出はジンパ—

野地 秀一

（平成18年修士課程修了）

学部は東京理科大学で化学を専攻しておりました。ただ文系就職を決意し、北海道拓殖銀行に就職しました。馬喰町支店2年、国際部資金為替グループ4年で破綻を迎えました。為替ディーラーとして働きながら、銀行のマーケットからの評価をものに感じておりましたが、まさか破綻するとは考えてもいなかったです。1998年に北海道に戻って来て、家業の株式会社ホクノに入社しました。主に新札幌地区でスーパーを

営んでおります。スーパーの方は2000年にトイザらスの進出の為、外庄に屈する形で旧大法が廃止。大型店舗がドンドンできるようになり転機を迎えた気がします。この時経営や経済の事を論理的に学んみたいと思ひ、2004年に経済学研究所に社会人枠で応募しました。結構、難しい本も読んだ記憶がありますが、一番の思い出はジンプでした。昨今、前述のトイザらスが経営破綻し、完全にAmazonに駆逐された感があります。今年そのamazonの無人レジを搭載したamazon goを見てきました。北海道からイノヴェーションを。リアルからネットへ突き上げることを目標に頑張る所存です。同窓生の皆様、何卒宜しくお願い申し上げます。

(株式会社ホクノー代表取締役社長)

北海道は素晴らしい！ —カーリングで想い出す 北見での日々—

宮村 芳孝 (昭和63年卒)

昭和63年卒、小野ゼミ出身です。卒業後北海道には縁がなかったのですが、平成21年から平成28年まで北海道勤務ができました。最初の1年

半は札幌勤務でしたので、真っ先に北大キャンパスを再訪しております。エルムの木々が成長し、景色が緑一色に覆われ、まさにエルムの杜へと進化したことに驚かされました。その他高架化による駅前の光景の変化にも時間の経過を感じた次第です。その後の5年半は北見勤務。道外生の私としては学生時代も含め札幌でもかなり寒い経験でしたが、レベルが違う冬の厳しさを体感しました。しかし春の美しさ、空やオホーツクの海の青さは本当に素晴らしく、道東の魅力の虜になったのも事実です。オリンピックでのカーリング報道に触れる毎にも、北見の日々を思い出しております。北海道についてのこの想いを皆様と分かち合えたら、との気持ちを最近強く持つようになってきました。北大経済学部同窓会の益々のご発展を祈念しております。

大好きな北海道に関連した仕事です —住みやすい仙台で がんばってます—

大野 正晴 (平成8年卒)

北大経済学部(長谷川ゼミ)を卒業して22年、その間札幌→北九州→仙台と転勤により勤務場所を変えて

まいりました。日本甜菜製糖株式会社での仕事はビート糖の営業販売。北海道には住んでいなくても、北海道のビートを原料にして北海道の製糖所で製造している。完全北海道産の製品を販売しております。そういう意味では、今でも大好きな北海道と関係した仕事ができているのはとても嬉しいことです。

仙台の営業所に勤務して5年目に突入、営業所の責任者として、東北6県を営業エリアに活動しておりますが、仙台は非常に住みやすい所で、家族ともども気に入っている場所です。もうしばらくここで生活したいと感じる今日この頃です。

イタリア再び —続く治療家としての挑戦—

三國 秀美 (平成元年卒)

去年、イタリアの幼児教育研修について書きましたが、近況をさらにお伝えしたく続編です。

私がイタリアと縁があるのは、学部を卒業し最初に就職したのがIT企業の伊オリベッティ社だったからかもしれません。企画職からいくつか転職ののち、現在は介護施設と鍼

灸院を運営しています。そのかたわら業務へのヒントを求めミラノ国際家具見本市の取材やラペルラ社製下着の仕入れのため今年も4月に渡伊しました。

以前は人生設計から程遠い、心細くあまいな生活が続くだけでしたが、手に職をもつとこんなにも視界が違うのかと今回改めて感じました。ミラノでは、高齢者も含め人を主役にする人生のお供としてのカタチをデザイナーと語り、その少し南にあるサルソマッジョーレという温泉地ではマッサージ師としてここで働けないかと思案しながらスパにつかり、自分の日常の延長線上で初めてイタリアを楽しむことができました。謳歌してこそその人生、これからは治療家の視点で何かと挑戦できそうです。(宮殿のような写真はイタリア屈指の温泉、サルソマッジョーレ・テルメです)

(東京都目黒区はりきゅうキッズア
ンドパートナーズ院長)



東京同窓会報告

秋のジンパ盛大に開催!

経済学部東京同窓会は隔年毎に法学部と合同開催をしておりますが、平成29年度は経済学部の単独開催。より多くのメンバーに参加してもらうべく、ここ数年6月に開催して若手同窓生を中心に好評を得ているジンパを秋にやろうとの趣旨で、10月25日(水)35名参加の下、新宿ライオン会館のジンギスカンホールにて開催されました。

ジンギスカンを楽しむということから、当学部以外に法、農、工、理、環境科学等他学部メンバーにも参加頂き、これまでにない多彩なメンバーでの会となりました。

陣谷会長の挨拶後、札幌よりお見えの経済学研究院長町野先生に大学の現状をお話し頂き、早野元会長の乾杯でジンギスカン鍋に火をつけて賑やかに会が進みました。

ジンギスカンは北大生のソウルフード、鍋を囲んでビールやワイン等を

楽しみながら現況や昔話に花が咲き、老若男女、世代や業種の垣根を超え大いに交流の輪が広がりました。あつという間に2時間が経過し、締めは斉藤紀美子さんの挨拶「Boys and Girls be ambitious!!」で杯を干して閉会となりました。

昨今、若手がなかなか参加してくれない現状は東京も同じで、多くの卒業生に参加頂けるよう、ジンパを主にして会費を4000円に抑えた会にしてみました。その成果があらわに感じています。

今後はオーソドックスな同窓会もベースにしながら、より多彩な同窓会になれるよう検討をして参ります。また、ネットやSNS等による案内も加え、幅広い呼びかけができるようにしていきたいと思っています。

平成30年度は法学部との合同同窓会となりますが、法経に加え文学部、教育学部の皆さまにも参加頂き、文



系合同の同窓会にすることで、より多くの同窓生が楽しめ、交流の輪が広がる会にしたいと思っています。

東京同窓会事務局 菅 誠(昭和52年卒) 文責

訃報 吉野悦雄名誉教授

ワルシャワ大学院を経て1981年より講師、助教授、教授と北大一筋に歴任、その間偉大なる研究成果を残されたとともに長きに亘り多くの北大経済学部生の指導に貢献されました。

「幅広いアプローチで世界経

済の実相を解き明かす」をモットーとした現場重視の研究姿勢に魅かれた学生は多く、ゼミは常に活発な討論が繰り広げられました。

著書は「複数民族社会の微視的制度分析—リトアニアにおけるミクロストーリー研究」等。



2018年3月30日逝去
享年68歳

ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。



北海道大学認定

同じ札幌の地で歴史を育む「札幌唯一の酒蔵 千歳鶴」が、創業140余年の伝統の技で丹念に醸し上げました。原料米は北海道が誇る「酒造好適米「吟風」を使用した北海道産100%のこだわりの逸品です。



梅酒
雪の天使たち
180ml詰
822円(税込)
◀斜めにも置くことができます。



特別純米
ポプラ並木
500ml詰
2,400円(税込)



大吟醸
ポプラ並木
500ml詰
2,900円(税込)

お問合せ先

札幌市北区北8条西7丁目
北大グッズ受注センター ④エルムプロジェクト
TEL011-708-0388 FAX011-708-0389 <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp>

札幌市北区北8条西4丁目(北大構内)
北大ショップ 北大交流プラザ エルムの森ショップ
TEL011-708-7540

売上金の一部は、北海道大学の運営費に充てられます。

●お酒は20歳になってから。●妊娠中・授乳期、また自動車・機械等の運転前、運転中の飲酒は避けて下さい。●お酒はおいしく適量を。●表示価格はメーカー希望小売価格(税込)です。

日本清酒株式会社 札幌市中央区南3条東5丁目2番地 ☎011-221-7106 <http://www.nipponseishu.co.jp>

授 便

“古き佳き”

学生時代はずっと遠くに — 変わらないのはゼミ生との交歓 —



久保 淳 司
(平成7年卒)

平成7年度経営学科(早川豊ゼミ・会計学)卒業の久保淳司です。平成12年4月に母校に任官して19年目を迎えました。19歳で文II系から経済学部に移行して以来四半世紀以上を経済学部で過ごしています。毎日を経済学部で過ごしているせいで、なかなか変化に気がつかないのですが、この原稿を書く機会を頂いたので、この四半世紀を振り返ってみました。

ら独立した国立大学法人になった際に、教官(国家公務員)から教員(団体職員)へと呼称も身分も変わったのです(最近の学生は教員のことを、職階に関わりなくなぜか教授と呼びます)。事務の方々も事務官から事務員になり、ソフトで優しい対応になりました。

事務の方がソフトになった一方、学生を取り巻く環境はハードになりました。文部科学省が推し進める単位の実質化政策のありを受けて、授業は15週間(30回)行われるようになりました。休講に

そこで研究室の片隅から移行当時の「学生便覧」を引っ張り出してきました。この「学生便覧」をもらったのは平成4年10月の移行式です。大先輩で北海道拓殖銀行頭取の山内宏さん(昭和27年卒故人)の講演など、教養部から移行してきたわれわれを経済学部あげて歓迎してくれた式典でした。今はそんな催しはありません。今の経済学部には、毎年、学部入試で入学した140人と文系総合入試で入学した50人の計190人が進学してくるのですが、文系総合入試組を迎えるのは学生50人と担任教員1名だけが参加する学部ガイダンスという数分で終わる形式的な会合です。

担任教員と書きましたが、昔は担任教官や指導教官でした。平成16年に、北海道大学が国の一機関としての国立大学か

いで2番目に低い学部です)。

対しても、その理由にかかわらず、しっかり補講が行われます。15週間の確保ができない年には、6講(18:15~19:45)に臨時の枠が設定されることさえあります。ハッピーマンデーのせいで祝祭日が偏ったりすると、講義終了は8月になります(大学祭も1日短縮されました)。しかも、昔は講義が終わるとすぐ夏休みで、前期の期末試験は9月下旬だったのですが、今は講義終了即試験でお盆間近に前期の期末試験が行われます。学生たちは高額の航空運賃や満員のフェリーで帰省していきます(今の経済学部の学生は41・4%が道外生です。これでも64・3%という北大全体の中では医学部に次

で、前期の期末試験は9月下旬だったのですが、今は講義終了即試験でお盆間近に前期の期末試験が行われます。学生たちは高額の航空運賃や満員のフェリーで帰省していきます(今の経済学部の学生は41・4%が道外生です。これでも64・3%という北大全体の中では医学部に次

学生が帰省ラッシュの大混雑に埋もれている頃、教員は試験の採点をするのですが、これが大変です。昔の成績は「優良、可、不可」の4段階でしたが、「秀、優、良、可、不可」の5段階を経て、今は「A+、A、A-、B+、B、B-、C+、C、D、D-、F」の11段階です。大学の成績なんてどうせ××先生が1回も××な学生に××な××に××の××とか、××先生が階×で××を××して××な方から××したとかみたいに対応につけているのだらうと、古き佳き時代に学生生活を送った方は思われるかもしれません。しかし、今の大学では何事にもエビデンス(「書類」が求められるので、キッチリと成績をつけなければならなくなりました)。

成績の細分化は、GPA(昔の移行点の現代版みたいなもの)を高めるために行われました。最近の北大は、学生の留学に力を入れています。あちらの大学は、学生のGPAで受け入れの可否を決めるので、成績が「適切」に反映されるように11段階評価が導入されたというのです。その甲斐あって毎年何人も学生が海外留学に行き、逆に海外からの学生が経済学部に来るようになりました。今の経済学部には英語

だけで行われる講義すらあるのです。

ここまで、経済学部で変わったことを紹介しましたが、もちろん変わっていないこともたくさんあります。特に、経済学部での学生生活において1番大事な場がゼミであることはまったく変わっていません。ゼミは全国の多くの大学にあるのですが、本学のゼミは札幌農学校時代に新渡戸稲造が理系の実験に対するものと位置づけて以来の伝統があるとのこと、多くのゼミはとも厳しいものです。「楽ゼミ」も相変わらず存在しますが、厳しい指導で成長した卒業生ほど、経済学部のことで懐かしく思い出すのはゼミの指導教官(教員)とゼミの同級生ではないでしょうか。

教員にとっても、ゼミ生は他の学生とは違った特別な存在です。多くの教員は、卒業生からの「ご機嫌伺い」を楽しみにしています。北大経済学部時代を懐かしく思った方、ぜひ指導教官(教員)や同級生に連絡をしてみてください。ちなみに私のメールアドレスは、学生時代から変わっていませんから、ゼミの卒業生はもちろん、学生時代の同輩・先輩・後輩からもメールをもらえるとたいへん嬉し

いですネ

名誉教授懇談会を開催

学術専門職 塚田 久美子

名誉教授懇談会が本年3月15日、構内にあるエンレイソウ「レストランエルム」で開催されました。

当日はご多忙中、荒又重雄先生（1967年～1996年在籍、北大経済学部卒、北海道労働文化協会会長）、白井孝昌先生（1972年～1998年在籍）、石坂昭雄先生（1966年～1999年在籍）、黒田重雄先生（1970年～2002年在籍）、濱田康行先生（1981年～2010年在籍、はまなす財団理事長）にご出席いただき、町野和夫研究院長（当時）、平本健太副研究院長（当時）、吉見宏地域経済経営ネットワーク研究センター長がオーガナイザーとして出席されました。

懇談会も第3回目を迎え、今回は5名の名誉教授にご出席いただき近況を報告し合いながら、なごやかに会を進めることができました。町野研究院長からは研究院・学院化が実現したことと、次期研究院長、副研究院長（当日欠席）の紹介がありました。ランチを囲んだ短い時間でしたが、大学をめぐる厳しい状況が報告され、名誉教授のみなさまの忌憚のないご意見をいただくなどあつという間に時間が過ぎました。

次回はいよいよ多くの名誉教授にご出席いただけるよう、今後もこのような場を継続していきたいということ、で、開会いたしました。



今年も集まろう！

平成30年

北大経済学部

同窓会総会・懇親会のご案内

例年同様、大学のホームカミングデーに合わせて講演会、同窓会総会、懇親会を左記の通り行います。ご都合に合わせてどこからご参加いただいても構いません。秋の一日、お誘いあわせの上お気軽にお出掛けください。

日時：平成30年9月29日（土）

・公開シンポジウム 15時～16時30分

「いままでの北海道、これからの北海道」パネリスト 森田美由紀さん

（北大文学部卒・NHKエグゼクティブ・アナウンサー）ほか

人文・社会科学研究棟（通称W棟）103号室（博物館の対面）

・同窓会総会 16時45分～17時15分

「軍艦講堂」2番教室（講演会場隣接）

・懇親会 17時30分～19時00分

北大生協 中央食堂2階

会費：3,000円（同伴家族2,000円）

受付：当日受付

（事前申し込みは要りません）

手紙なら、と考えてください。

あなたが手紙を書くとしたら、伝える言葉だけでなく、字にも、便箋にも、封筒にも、きっと心を配るでしょう。たったひとりの顔を思い浮かべて。

たくさんの人に届けるものでも、受け取るのは、「たったひとり」のわたしです。

須田製版は、企画・デザイン・印刷のすべてに気を配り、紙からデジタルまであらゆる媒体を駆使して、「たったひとり」の心を動かす、あなたの「手紙」を届けます。

TOTAL PRINTING

株式会社 須田製版

www.suda.co.jp

【札幌本社】〒063-8603
札幌市西区二十四軒2条6丁目1-8
TEL.011-621-1000 FAX.011-621-1500
旭川支社・釧路支社・苫小牧支社・東京支社・
滝川営業所・帯広営業所・北見営業所



北海道内のすべてがそろった「電子書籍」ポータルサイト
「ホッカイドウ イブックス」



Hokkaido ebooks
www.hokkaido-ebooks.jp

噂の「こけし屋」

訪問記

菅 埜 誠 (昭和52年卒)

西荻窪こけし屋は昭和24年に開業、本格的な洋食店として数多くの政財官界人や作家、画家、芸能人など有名人にこよなく愛され、70年を迎える超有名店であります。

現在は2代目大石剛生さん(83年経営学科卒)が経営しており、予てより訪問を企図、今般4月26日に挙行いたしました。

当日は大石社長ご案内の下、落ち着いた個室で本格的フレンチとワイン、ビールが振舞われ、充実した一夜を満喫できました。特に作家の松本清張氏が頻りに訪れ、原稿執筆に一日を過ごしながらいしたいくのビーフシチューは絶品で、同店の名物料理になっているそうです。

店を訪れることで、同窓生の現況やキャリアを伺い知することは固より、同窓生との交流により新たな同窓生の紹介を得るなど多様な広がりができると感じました。

今後とも同窓生の職場を訪問することで多くの知見が得られればと思いつつの一日でした。

こけし屋…東京都杉並区西荻南3-14-6 (JR中央線西荻窪駅南口)

訪問者…経済学部陣谷、菅埜、坂本、法学部大久保、廣重、工学部松谷 各氏(東京同窓会、学部主要メンバー)

スープカレーを全国へ、世界へ！ 「蜂鳥カリィ」

奮闘記

平 中 瑞穂 (平成11年卒)

北大経済学士たる者、為すべきことは何か？

学業は不真面目で飲食店の副業に力を入れてきた私が、卒業十数年間のモラトリアムの中で自問し続けた結論は、バブル崩壊過程の中で元気をなくした北海道に「自信」を作ることでした。

北海道には世界に誇ることのできるスープカレーがあります。

スープカレーは日本の出汁文化とインド亜大陸のスパイス文明とが見事に調和した究極の「和食」です。これこそ正に北海道の自信と元気を取り戻せる起爆剤であり、北海道から全国へ、そして世界に向けて日本の代表料理になり得ると考えたのです。

最近流行のスープカレー店は残念ながら料理店としても

飲食ビジネスとしても意識が低く、その多くは

スープカレーをカネ稼ぎの道具としているのに稼げていないという心許ないビジネスとなっ



います。私が東京で移動販売のスープカレーを始めたのは家賃など余計なコストで質を落とさず、より多くの方に北海道の自信作を見てほしいからなのです。

インフレ率の目標も達成できない永田町発の経済政策ですが、一方、横断歩道を渡った赤坂に新店している「蜂鳥カリィ」はこの5年間でスープカレーを9000円から2500円まで値上げしたのです！私のスープカレーは関東の味覚に合わせませんし市場に媚びませんが、確実に共感して力を下さるお客様が増え続けています。儲けのためではなくスープカレーを広め、北海道、日本、いや世界を元気にすることを目標に活動してきたことがようやく浸透してきたと嬉しく思っています。

私がスープカレーに使命感を持って取り組んでいることこそが北海道を元気にし、北大出身者の誇りにも繋がっていくことを強く願っています。小さくとも志高く羽ばたいている蜂鳥となった卒業生がいることをどうぞお見知りおき頂きたく存じます。

※「蜂鳥カリィ」の固定店舗はございません。出店依頼、宅配のご注文は「逃げるスープカレー」で検索にてお問い合わせください。

札幌遠友塾自主夜間中学

基礎教育をすべての人に

様々な理由で基礎教育の機会を十分に得られず、日ごろの生活に困難を感じている方！学びを求めている人々を支援したいと思っている方！一度遠友塾を見学してみませんか！！

遠友塾は、学ぶ喜びにあふれ、まなぶ人と支援する人がつながり合い心地よい居場所となっています。

「生きることは学ぶ事」、学びはより豊かな生活を実現し、未来を切り開くもの、現代社会にあって基礎的学びはまさに生存権です。

札幌遠友塾は、基礎的学びを提供しようとして一九九〇年開設したボランティア組織です。

授業は国、数、英、社の四教科、週一回、三年間で中学一年位までの内容を目指しています。現在受講生七四名、ボランティアスタッフ七三名が、毎週水曜日夜(6:00~9:00)札幌市立向陵中学校の校舎を借りて学んでいます。

問合せ 代表・遠藤知恵子(北大文学部・教育学部卒・011-562-0122) 事務局 長黒澤晴一(011-827-8072)



名刺広告

株式会社 石川物産館
恵愛ビル
取締役会長

吉中 新太郎
(経 昭和30年卒)

〒064-0804
札幌市中央区南四条西四丁目十六番地
電話代表(011)271-0011番

弁護士 公認会計士

伊東 孝
(経 昭和34年卒)

札幌市中央区大通西十丁目南大通ビル
TEL 011(271)2475
FAX 011(281)5809

パリアフリー本の子ども図書館
公益財団法人 ふきのとう文庫

代表理事

高倉 嗣昌
(経 昭和36年卒)

業務執行理事

阿久津 良二
(経 昭和37年卒)

札幌市中央区北6条西12丁目8-3
TEL 011(222)4839

中川原税務会計事務所
税理士

中川原 慶憲
(経 昭和41年卒)

札幌市中央区南一条西一二丁目三二番地
新栄ビル七階
TEL 011(271)8462

山田建二税理士事務所
税理士

山田 建一
(経 昭和41年卒)

札幌市北区北九条西五丁目一番十九号
TEL 011(746)5646

札幌監査法人
代表社員 公認会計士

高野 一夫
(経 昭和45年卒)

札幌市中央区南一条西十二丁目新永ビル
TEL 011(261)7512

山崎公認会計士事務所
公認会計士 税理士

山崎 駿
(法 昭和45年卒)

札幌市中央区南二条西五丁目
サンワイドビル8階
電話 011(211)1786

弁護士

吉川 正也
(経 昭和46年卒)

札幌市中央区大通西十丁目南大通ビル4階
TEL 011(261)6677

上野公認会計士事務所
公認会計士

上野 昌美
(経 昭和47年卒)

札幌市中央区南23条西9-1-25
TEL 011(522)8170

遠藤公認会計士事務所
公認会計士

遠藤 昭一
(経 昭和48年卒)

札幌市東区北二条東十八丁目三番三三
TEL 011(783)8123

社団法人日本クレジット協会
会長

杉本 直栄
(経 昭和48年卒)

弁護士

工藤 倫
(経 昭和50年卒)

札幌市中央区北五条西十二丁目一番地
ベルックス北五ビル B館二階
TEL 011(261)5275

田中利男税理士事務所
税理士 中小企業診断士

田中 利男
(経 昭和50年卒)

札幌市中央区南3条西6丁目3-2
南3条グランビル601
TEL 011(261)2061

株式会社 ターフテック
代表取締役

宮本 裕司
(経 昭和50年卒)

北広島市大曲工業団地五丁目一番地二
TEL 011(377)4011

北大経済学部東京同窓会
会長

陣谷 義直
(経 昭和51年卒)

札幌市中央区南23条西9-1-25
TEL 011(522)8170

岩本敏美税理士事務所
(株)イワモトマネジメントサービス
税理士代表取締役

岩本 敏美
(経 昭和53年卒)

〒0071-0834
札幌市東区北34条東7丁目3番20号 イワモトビル2階
TEL 011(214)1176

不動産鑑定士 宅地建物取引士
目黒 健児
(経 昭和54年卒)

メグロオフィス株式会社 代表取締役
札幌市中央区南一条西六丁目十四番地
大友ビル四階(南二条通沿い南向き)
TEL 011(218)3566

監査法人ライトハウス
代表社員 公認会計士

北村 好孝
(経 平成4年卒)

札幌市中央区南一条西11丁目コンチネンタルビル
TEL 011(232)7102

監査法人ハイビスカス
代表社員 公認会計士

堀 俊介
(経 平成6年卒)

札幌市中央区南一条西9丁目井門札幌S109ビル
TEL(011)826-5265

吉田大吾税理士事務所
税理士

吉田 大吾
(経 平成11年卒)

札幌市中央区南3条西12丁目3208
札幌森ビル313階
TEL 011(206)4236

税理士法人あかり会計
代表社員

大塚 克幸
(経 平成11年卒)

札幌市中央区南4条西6丁目晴ぽれビル6F
TEL 011(330)7711

中村泰道会計事務所
所長(公認会計士・税理士)

中村 泰道
(経 平成12年卒)

札幌市北区北7条西220番地東建物札幌ビル2階
TEL 011(606)2624
E-mail: y-nakamura@nakamura-cpa.jp

牧田税理士事務所
税理士

牧田 秀崇
(院経済 平成22年卒)

苫小牧市音羽町1丁目8番6号
TEL 011(434)0385
URL: http://www.iexamita.com

同窓会サポート企業

SALAT 株式会社 サラト

■本社
兵庫県姫路市北条宮の町172
〒670-0948
Tel.079-284-1380

■東京支社
東京都台東区台東4-18-7 シモジンビル5F
〒110-0016
Tel.03-3832-6381



<http://www.salat.co.jp>

編集後記

- 北海道に暮らして「内地」がうるような暑さと聞くとたびに溜飲を下げてきた私ですが、さすがに今年の報道では同情に変わりました（笑）。
ここ大学構内の学部棟304号室は快適な空間です。同窓会は無料で使用させていただくばかりか、光熱費までも「支援」していただいています。月、木、金の午後は誰かがおります。構内に来られた際には情報収集、休憩などでもご利用ください。
- 2年前から始めた「ゼミ訪問」の企画が比較的若い卒業生に好評と聞き、今号では2コマ載せました。お二人の先生にお話を伺った際に強く感じたのはゼミ生への愛情と穏やかに続ける「絆」でした。
ゼミOBのコメントから察せられたのは、実社会で組織のミッションを日々追いかけている中で、ふと立ち返れるふるさとのような存在がゼミなのかもしれません。そしてまた久保先生がお書きになったように、厳しい指導を受けた学生ほどその思いを強く感じているはずです。
ご無沙汰の皆さん、いい機会です、さっそく先生に「近況報告」されては如何でしょう。
- 今号から少ない字数の近況特集を企画しました。Diversityにこだわって投稿依頼をした結果、13名の方々が快く引き受けていただきました。
次号も自薦他薦問いません。題意や形式も自由です。同窓生の集まりなども気軽に送ってください。
- 役員会ははじめ多くの議論を重ねた末に、学生支援のための「協賛金」制度創設と長期（5年以上）会費未納者への会報送付制限を実施いたします。会員の皆さんには何卒ご理解賜りますようお願いいたします。
更にこれらについては会員のご意見・提案を広く求めてより良い形に変えていくのがいいと考えております。事務局までお寄せください（連絡先は表紙に記載）。
- お願いが一つ。同窓会活動（事務局）に少しでも時間が割ける方がいらっしゃればご連絡をお待ちしています。企画、受付、写真、編集、渉外、現場、パソコン、SNS・・・得意ワザがなくてもOKです。普段着の運営を心掛けておりますので、ぜひご連絡ください。

The collage consists of eight black and white photographs arranged in a grid-like fashion. The top row features four photos: two students holding books, a group of students in a hallway, two students eating, and a student working at a desk. The bottom row features two larger photos: a group of students working at a table and a large group photo of many students posing together.

北大生協ビジョンとアクションプラン ～2020年に向けて <https://www.hokudai.seikyou.ne.jp/mission/>

会費のお願い

「協賛金(学生支援金)」創設しました。

年会費 3,000円

終身会費 30,000円

振込方法は郵便局、コンビニにて同封の「払込取扱票」にてお願いいたします。
なお、協賛金は郵便局のみとなりますのでご注意ください。

別紙にて会長より協賛金の創設に至った経緯と9月総会にて審議される事項について説明されております。
是非、ご一読いただきますようお願いいたします。

協賛金は一口1万円とし、その使途は原則全額を現役学生への支援に充てます。従来から行っている卒業を祝う会や優秀論文への寄付増額にとどまらず、ゼミ研究・就職活動の支援に使用します。

他学部では同窓会による「寄付金講座」など新設する動きもありますが、身の丈に合った経済学部らしい有効策を新学部長のお知恵も借りながら、スピード感を持って具現したいと考えております。

なお、協賛金を納めていただいた方に対し会報にてご芳名を記させていただきます。

また、昨年会報で既報の通り、終身会費納入者以外で直近5年間一度も年会費(3千円)を納めていただけない会員に対しては、来年より会報の送付は行いません(9月総会議案提出予定)。

どうかご理解をいただき、継続納入にご協力いただきますようお願い申し上げます。



(株)ブライダルは北海道大学経済学部同窓会の皆様の「結婚」を応援します。

40年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも「結婚」という形で社会に貢献できる企業を目指しており、特に北大校友の皆様には平成18年より「北海道大コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この「北大経済学部同窓会報」を見たとおっしゃってくだされば、校友の皆様は登録料100%OFFにてご入会頂けます。

北海道大コース

登録料 **100% OFF**

ブライダルコース ¥226,800 ▶ ¥194,400 etc.*

エクセレントコース ¥388,800 ▶ ¥356,400 etc.*

※価格は会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。



1978年創業
株式会社

ブライダル

Network 東京・湘南・豊橋・名古屋・大阪

東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F
名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
大阪支社 〒530-0001 大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング6F

お問い合わせ
(月曜定休)

0120-415-412

ホームページ <http://www.bridal-vip.co.jp>



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。